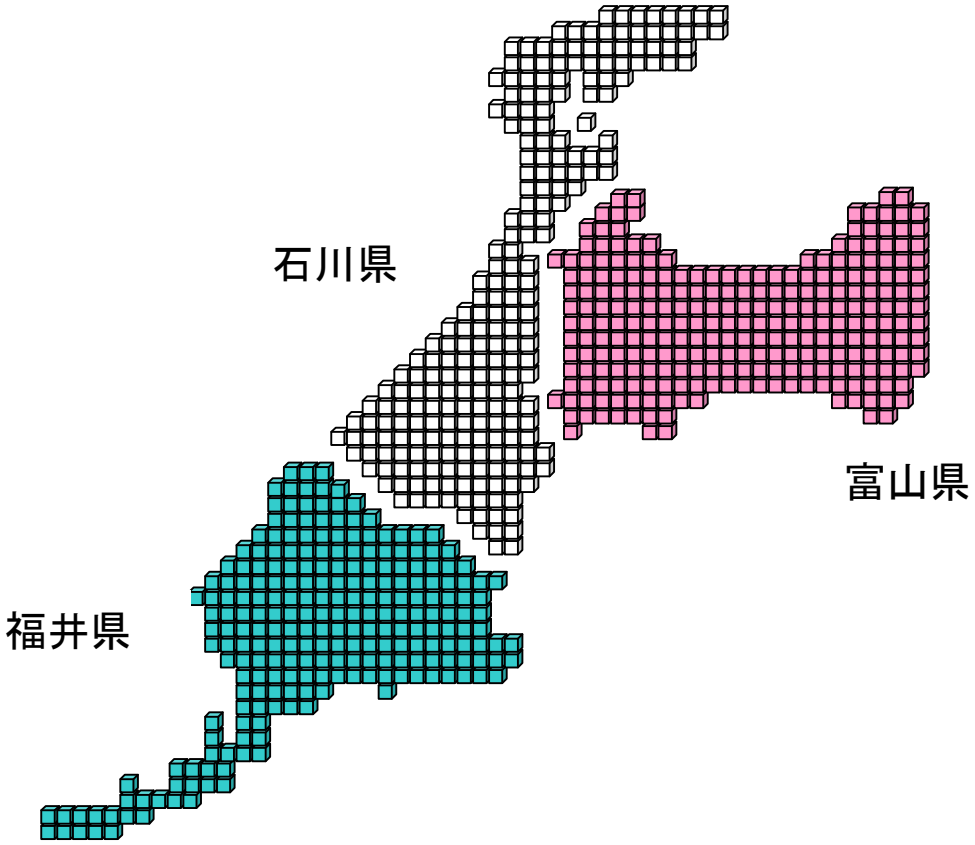
令和８年１１月５日発表

管内経済情勢報告



令　和　８　年　１　０　月

財務省北陸財務局

お問合せ先
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL （076） 292-7858

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、持ち直している」

項　目	前回（8年7月判断）	今回（8年10月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	**持ち直している**	→

（注）8年10月判断は、前回8年7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、観光やイベント関連が堅調であるものの、物価上昇を背景に節約志向が続いていることなどから、回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、電子部品・デバイスや生産用機械が改善していることなどから、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

【各項目の判断】

項　目	前回（8年7月判断）	今回（8年10月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	**回復に向けたテンポが緩やかになっている**	↘
生産活動	持ち直しつつある	**持ち直している**	↗
雇用情勢	持ち直しの動きに一服感がみられる	**持ち直しの動きに一服感がみられる**	→
設備投資	8年度は減少見込みとなっている	**8年度は減少見込みとなっている**	→
企業収益	8年度は増益見込みとなっている	**8年度は増益見込みとなっている**	→
企業の景況感	「下降」超となっている	**「下降」超となっている**	→
住宅建設	横ばいの状況にある	**緩やかに持ち直している**	↗

【先行き】

先行きについては、観光需要や生産活動を中心に、持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇の影響に加え、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「回復に向けたテンポが緩やかになっている」

百貨店・スーパー販売は、百貨店では催事効果により客数が増加しているものの、スーパーでは飲食料品の動きが鈍いことなどから、全体では回復に向けた動きに一服感がみられる。コンビニエンスストア販売は、カウンターフーズに動きがみられるものの、米飯類の動きが鈍いことから、前年並みとなっている。ドラッグストア販売は、飲食料品に動きがみられることから、順調となっている。ホームセンター販売は、園芸用品等に動きがみられることから、堅調となっている。家電大型専門店販売は、エアコン等に動きがみられることから、持ち直している。新車販売は、持ち直している。主要観光地の入込客数は前年を上回っている。主要温泉地の宿泊客数は前年を上回っている。

（主なヒアリング結果）

- 8 月はお盆期間に帰省客や家族連れの来店が増加した。9 月は物産展などの催事が好調で来店客数が増加し、売上げは前年を上回った。（百貨店）
- 調理の手間を省ける惣菜や冷凍食品への需要は堅調に推移しているものの、スイーツや酒などの嗜好品を中心に買上点数が減少している。（スーパー）
- カウンターフーズ等の店内調理の商品は、キャンペーン等の効果により堅調に推移している。節約志向の高まりを受けて、カップ麺などへのシフトにより米飯類の動きが鈍い。（コンビニエンスストア）
- 顧客はより低価格の商品を選択する傾向が強まっており、PB 商品の需要が高まっている。（ドラッグストア）
- 夏物家電のほか、園芸用品やDIY 用品が売上げを伸ばした。大雨被害に伴う補修需要から雨どい、木材、土嚢等に動きがあった。（ホームセンター）
- エアコンは、安価なモデルに加え、省エネ新基準を満たした高単価モデルが売れている。（家電大型専門店）
- 一部車種の供給状況の改善が進み、受注を再開していることが売上増加の大きな要因となっている。（自動車販売店）
- 著名なプロスポーツ大会が開催され、開催期間は多くのファンが訪れた。大会開催後は利用客が増加し例年以上に好調。（娯楽）
- 昨年大阪・関西万博に集中した反動で今年は国内客が多くなっているほか、海外のメディアで金沢が訪れるべき場所として相次いで紹介されたことなどから海外からも注目が高まっている。（宿泊）
- 集客効果の高いイベントが開催されたことや、シルバーウィークの日並びが良かったため、国内客が例年より好調なほか、金沢観光から足を延ばす欧米インバウンドも増加傾向にある。（温泉地）
- 近隣の有名観光地への交通費が割引になるキャンペーンを例年より長く実施したところ、各地から観光客が増加した。（温泉地）

■ 生産活動 「持ち直している」

化学は、大宗を占める医薬品で、回復している。電子部品・デバイスは、スマートフォン向けや自動車向けで持ち直しつつあるほか、AI サーバー向けで増加していることなどから、全体では緩やかに持ち直している。生産用機械は、半導体製造装置、繊維機械、金属加工機械がいずれも増加していることなどから、全体では回復しつつある。金属製品は、大宗を占めるアルミ建材で、ビル用が下げ止まりつつあるものの、住宅用が減少していることなどから、全体では弱い動きとなっている。繊維は、衣料向けを中心に弱含んでいる。

- 医薬品業界で不採算品目からの撤退が進む中、同成分品目の生産を続ける当社への需要は高まっており、既存商品の生産量が増加している。（化学）
- スマートフォン向けは、北米メーカーの新モデル向けが量産体制に入っているほか、旧モデル向けも高い生産水準を維持している。（電子部品・デバイス）
- 半導体製造装置は、生成AI 需要の高まりを背景にデータセンター向けの引き合いが増加。工場の拡張や工員増強を進め、生産量を拡大させる計画。（生産用機械）
- 繊維機械は、AI の急速な普及に伴い、ガラス繊維用織布準備機械の受注が大幅に増加している。（生産用機械）
- 住宅用は、住宅価格の高騰を背景とした住宅の狭小化・平屋化による窓数減少などから、受注量が減少している。ビル用は、都市部を中心に需要が回復基調にある。（金属製品）
- 中東情勢の影響による原材料の調達難から生産を抑制して以降、元の生産水準に戻っていない。（繊維）

■ 雇用情勢 「持ち直しの動きに一服感がみられる」

有効求人倍率は引き続き高水準となっているものの、求人の面で一部に弱さがあることなどから、おおむね横ばいとなっている。新規求人数は前年を下回っており、新規求職者数は前年並みとなっている。雇用保険受給者実人員は前年並みとなっている。

- ➢ 新規採用が難しい中、社員の会社への愛着や働く意欲の向上を狙って、TVCM の放映を開始した。(繊維)
- ➢ 人手不足・高齢化が深刻で、需要の少ない平日は休館日を設けるところが多くなった。(宿泊)
- ➢ 専門知識や接客スキルが要求されるスタッフについて、人材確保に苦戦していたが、先般カムバック採用で 3 名確保することができた。(小売)
- ➢ 高齢者の求職者が増えている。ただし、体力や通勤・勤務時間などの制約が多く選択肢が限られるため、なかなか就職に結びつかないケースが多い。(公的機関)
- ➢ 8 月は暑さによる外出控えや大雨による交通への影響で窓口に来る求職者が減少した。(公的機関)

■ 設備投資 「8 年度は減少見込みとなっている」 (全産業)「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○ 製造業では、生産用機械器具などが増加となるものの、情報通信機械器具、化学工業などが減少となることから、全体では減少見込みとなっている。

○ 非製造業では、情報通信などが増加となるものの、運輸・郵便、金融・保険などが減少となることから、全体では減少見込みとなっている。

- ➢ 新工場建設や設備導入により、増加見込み。(生産用機械器具)
- ➢ 前年度の新工場建設と設備導入の反動により、減少見込み。(情報通信機械器具)
- ➢ 前年の物流施設開設の反動により、減少見込み。(運輸・郵便)

■ 企業収益 「8 年度は増益見込みとなっている」 (全産業)「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○ 製造業では、非鉄金属などが増益となるものの、窯業・土石製品、情報通信機械器具などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

○ 非製造業では、運輸・郵便などが減益となるものの、学術研究、専門・技術サービス、小売などが増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全産業)「法人企業景気予測調査」8 年 7-9 月期

○ 企業の景況判断 BSI は、製造業、非製造業ともに「下降」超となっている。なお、先行きは、全産業では 8 年 10-12 月期は「上昇」超、9 年 1-3 月期は「下降」超となる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「緩やかに持ち直している」

○ 新設住宅着工戸数でみると、緩やかに持ち直している。

■ 公共事業 「前年を下回っている」

○ 前払金保証請負金額でみると、前年を下回っている。

■ 金融機関の貸出金 「前年を上回っている」

○ 金融機関の貸出金は、前年を上回っている。

■ 企業倒産 「前年を下回っている」

○ 件数、負債総額ともに前年を下回っている。

■ 消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合) 「前年を上回っている」

○ 消費者物価指数でみると、前年を上回っている。

3. 各県の総括判断

	前回 (8 年 7 月判断)	今回 (8 年 10 月判断)	前回比較	総括判断の要点
石川県	持ち直している	**持ち直している**	→	個人消費は、回復に向けたテンポが緩やかになっており、生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。
富山県	持ち直している	**持ち直している**	→	個人消費は、回復に向けた動きに一服感がみられており、生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。
福井県	緩やかに回復しつつある	**緩やかに回復しつつある**	→	個人消費は、回復しつつあり、生産活動は、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、持ち直している。

令 和 ８ 年 １ １ 月 ５ 日 発 表

管内経済情勢報告

【概要資料】

〔管内経済の概況〕

北陸財務局管内（石川県、富山県、福井県）の最近の経済動向をみると、持ち直している。

※前回７月判断を据え置き（令和８年４月以降、３期連続の据え置き）

（総括判断のポイント）

個人消費は、観光やイベント関連が堅調であるものの、物価上昇を背景に節約志向が続いていることなどから、回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、電子部品・デバイスや生産用機械が改善していることなどから、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

【先行き】

○　観光需要や生産活動を中心に、持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇の影響に加え、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

【総括判断】

項　目	令和8年7月	令和8年10月	前回との比較
総括判断	持ち直している。	持ち直している。	→

【主要項目の判断】

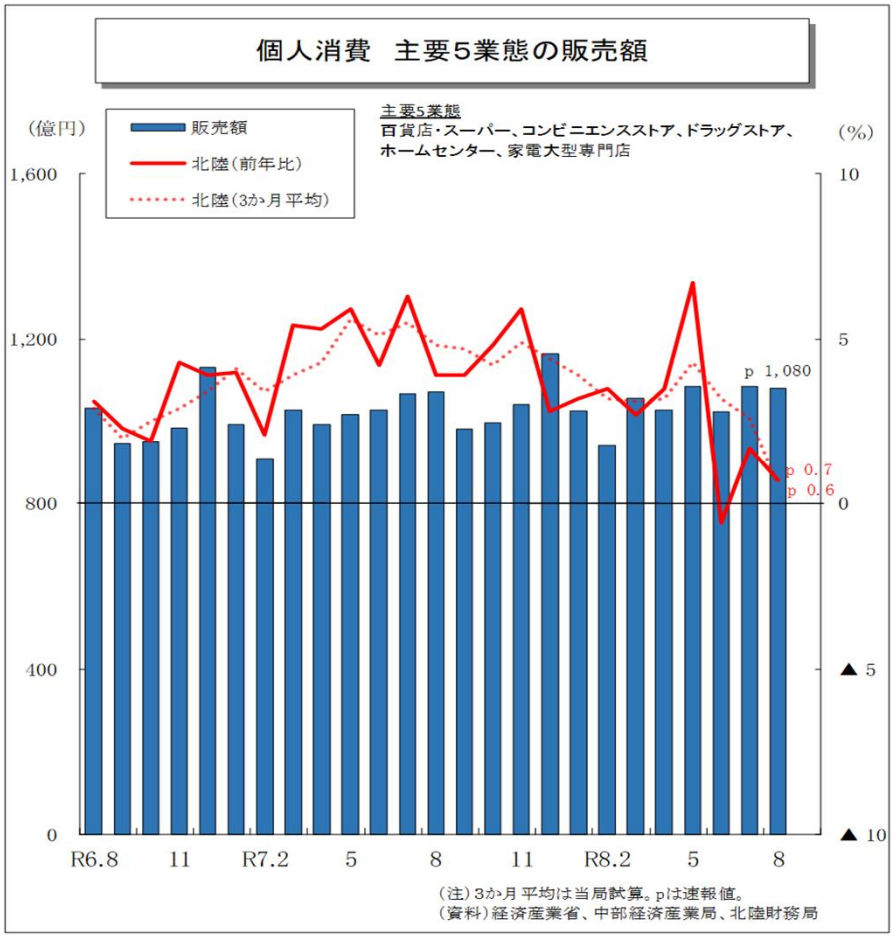
項　目	令和8年7月	令和8年10月	前回との比較
個人消費	緩やかに回復しつつある。	回復に向けたテンポが緩やかになっている。	↘
生産活動	持ち直しつつある。	持ち直している。	↗
雇用情勢	持ち直しの動きに一服感がみられる。	持ち直しの動きに一服感がみられる。	→

令 和 ８ 年 １ ０ 月
財務省 北陸財務局

お問合せ先
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL （076） 292-7858

1．個人消費 ･･･「回復に向けたテンポが緩やかになっている」として、前回7月判断（「緩やかに回復しつつある」）を下方修正

（令和6年4月以来、10期ぶりの下方修正）



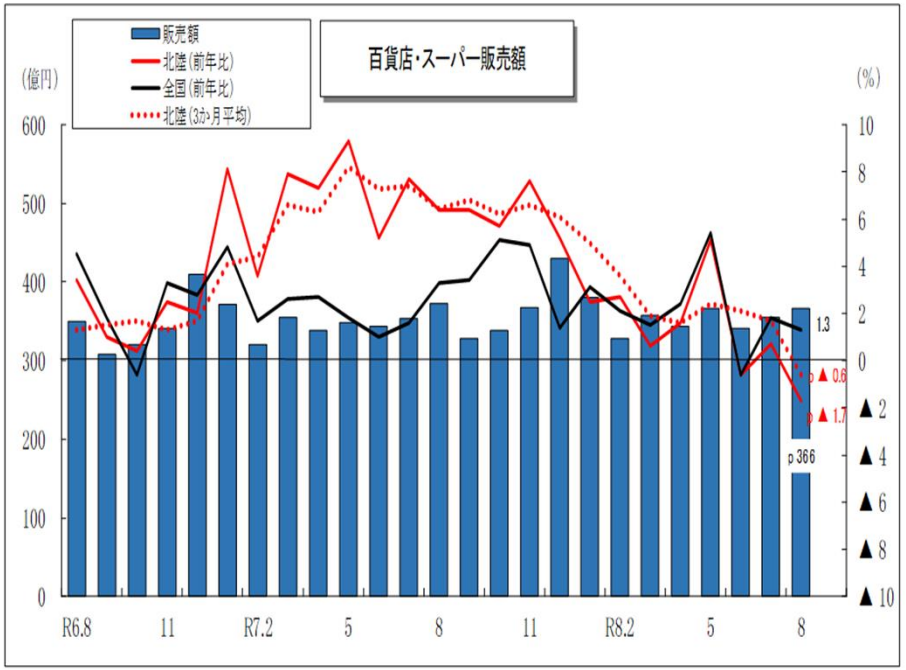
業態		判断	前回との比較
百貨店・スーパー	販売額	回復に向けた動きに一服感がみられる	↘
コンビニエンスストア	販売額	前年並みとなっている	→
ドラッグストア	販売額	順調となっている	↘
ホームセンター	販売額	堅調となっている	→
家電大型専門店	販売額	持ち直している	→
新車販売	台数	持ち直している	→

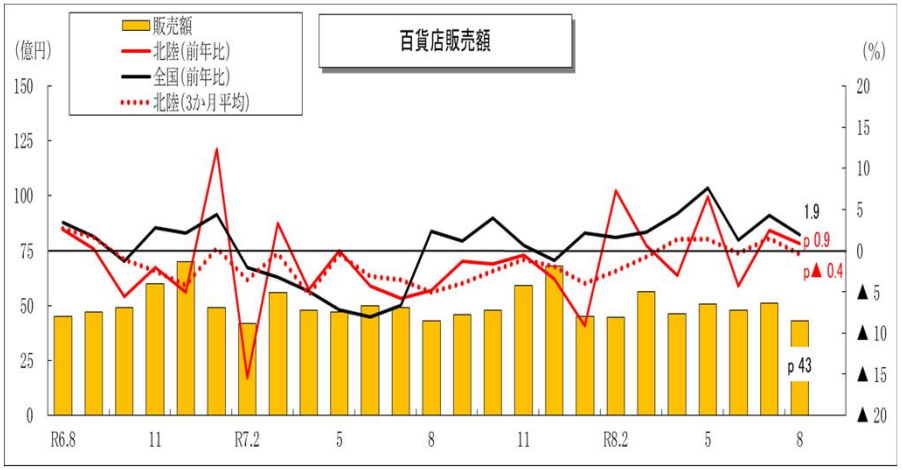
物価上昇を背景に節約志向が続いていることなどから、回復に向けたテンポが緩やかになっている。

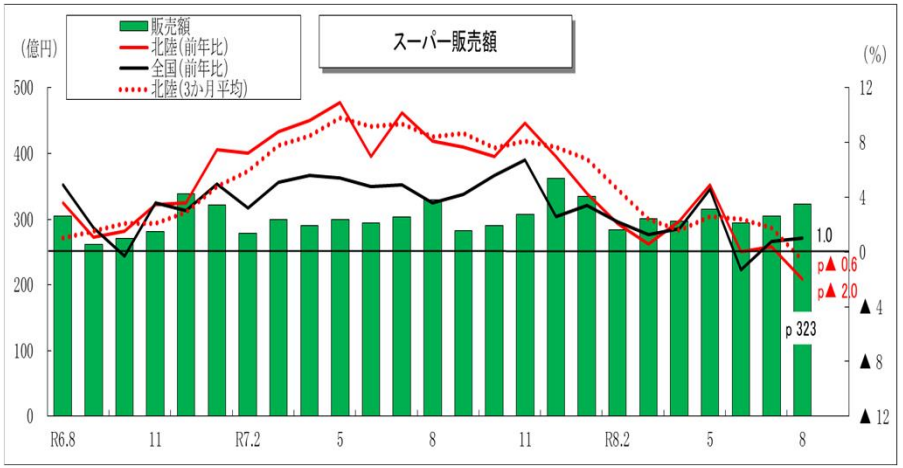
（1）百貨店・スーパー販売

百貨店・スーパー販売は、百貨店では催事効果により客数が増加しているものの、スーパーでは飲食料品の動きが鈍いことなどから、全体では回復に向けた動きに一服感がみられる。

※前回7月判断（「緩やかに回復しつつある」）を下方修正
（令和2年4月以来、26期ぶりの下方修正）







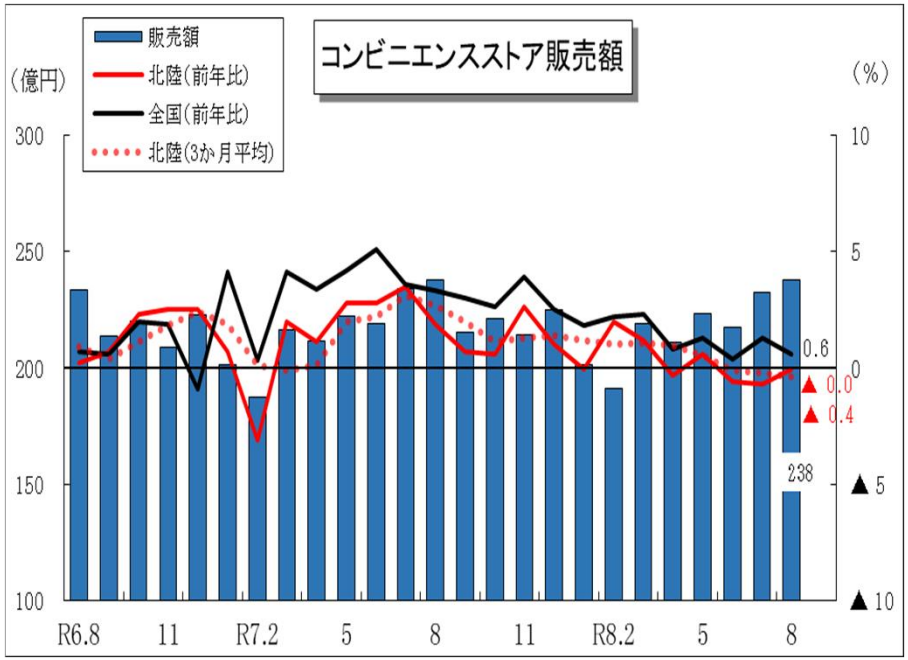
（主なヒアリング結果）
【百貨店】
➢8月はお盆期間に帰省客や家族連れの来店が増加した。9月は物産展などの催事が好調で来店客数が増加し、売上げは前年を上回った。
【スーパー】
➢調理の手間を省ける惣菜や冷凍食品への需要は堅調に推移しているものの、スイーツや酒などの嗜好品を中心に買上点数が減少している。
➢単価の上昇により前年並みの売上げを確保しているものの、数量ベースでは前年同月を2～3%程度下回って推移している。
➢8月27日以降の大雨の影響により、来店客数が大きく減少した。
➢ハレの日需要は底堅いものの、節約志向が続く中、日常的な買い物はより安価な他店や他業態を利用するなど、客数が減少している。

（注）3か月平均は当局試算。pは速報値。　　（資料）経済産業省、中部経済産業局

（2）コンビニエンスストア販売等

①コンビニエンスストア販売は、カウンターフーズに動きがみられるものの、米飯類の動きが鈍いことから、前年並みとなっている。

※前回7月判断を据え置き

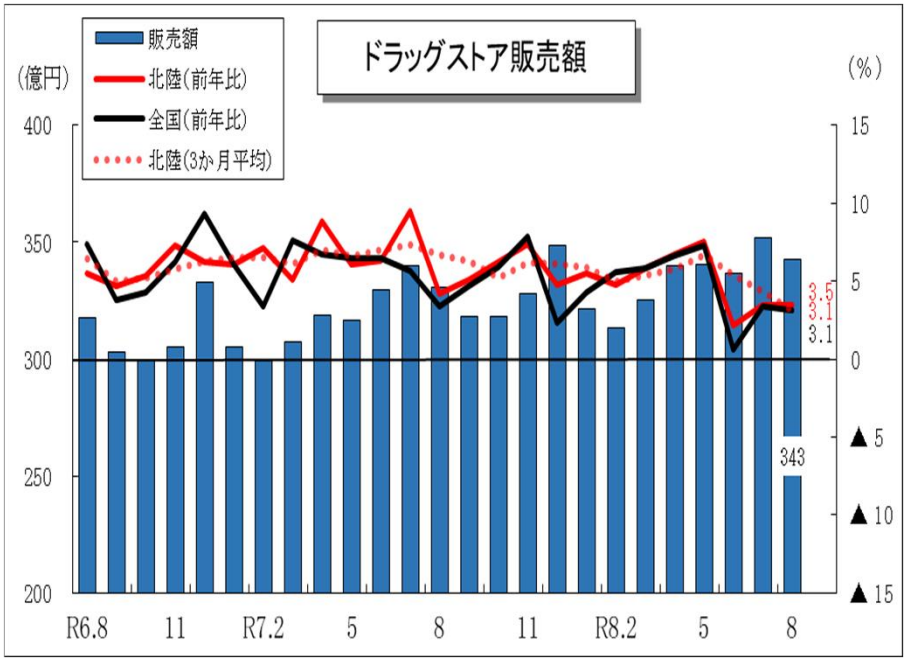


（注） 3か月平均は当局試算。　　（資料）経済産業省、北陸財務局

（主なヒアリング結果）
➢節約志向の高まりを受けて、カップ麺などへのシフトにより米飯類の動きが鈍い。
➢カウンターフーズ等の店内調理の商品は、キャンペーン等の効果により堅調に推移している。

②ドラッグストア販売は、飲食料品に動きがみられることから、順調となっている。

※前回7月判断（「拡大している」）を下方修正
（令和3年1月以来、23期ぶりの下方修正）

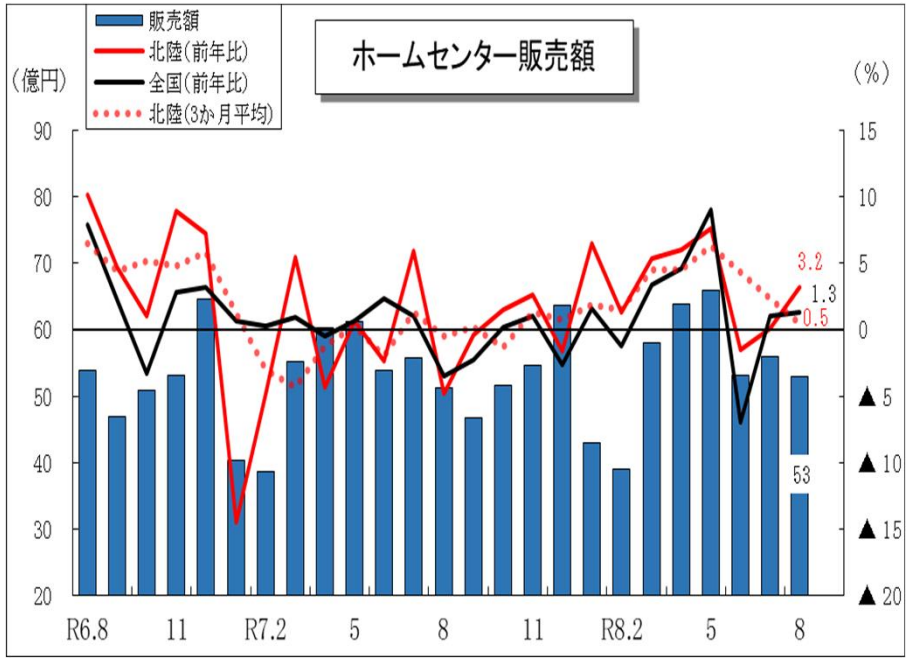


（注） 3か月平均は当局試算。　　（資料）経済産業省、北陸財務局

（主なヒアリング結果）
➢顧客はより低価格の商品を選択する傾向が強まっており、PB商品の需要が高まっている。
➢8月末の大雨の影響で、一部店舗が浸水し、休業を余儀なくされた。
➢食料品は、他業態と比較して価格を抑えた精肉やパン等の売れ行きが良い。

③ホームセンター販売は、園芸用品等に動きがみられることから、堅調となっている。

※前回７月判断を据え置き（令和８年４月以降、３期連続の据え置き）



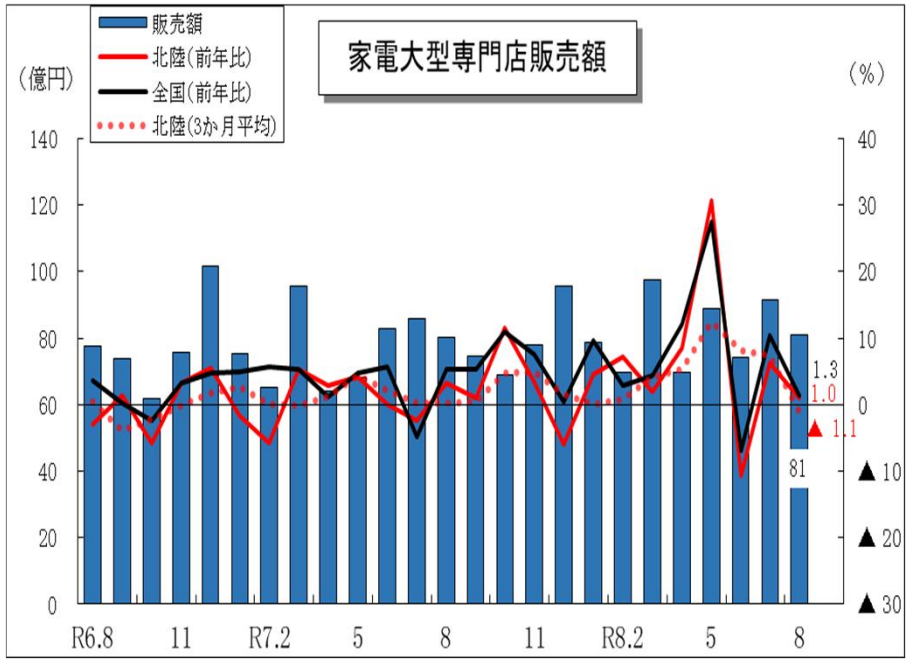
（注） ３か月平均は当局試算。

（資料）経済産業省、北陸財務局

（主なヒアリング結果）
➢夏物家電のほか、園芸用品やDIY用品が売上げを伸ばした。
➢大雨被害に伴う補修需要から雨どい、木材、土嚢等に動きがあった。

④家電大型専門店販売は、エアコン等に動きがみられることから、持ち直している。

※前回７月判断を据え置き



（注） ３か月平均は当局試算。

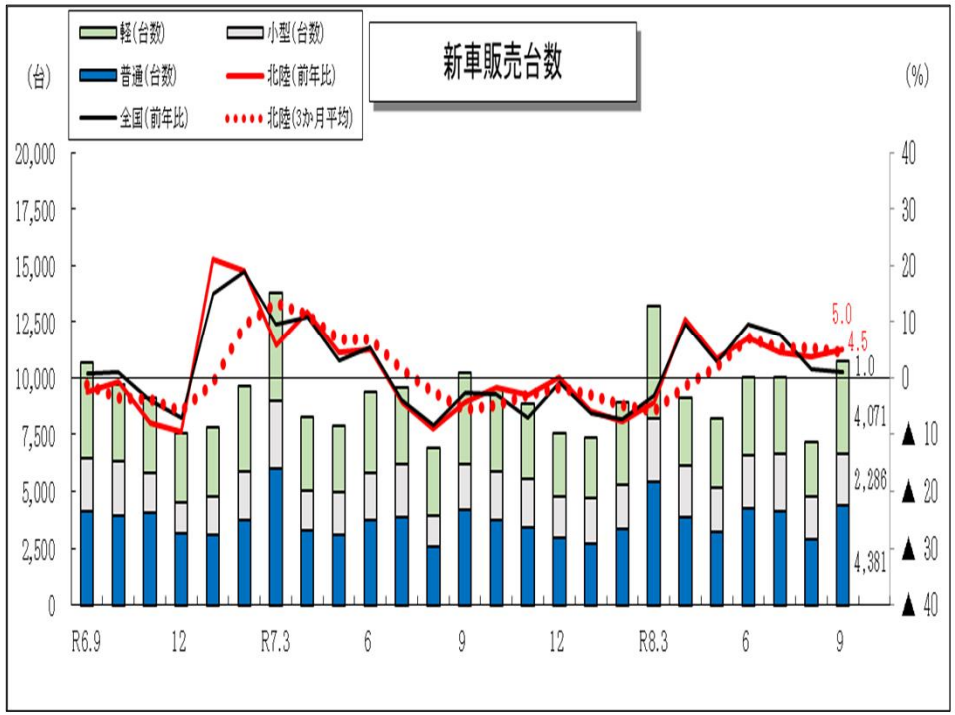
（資料）経済産業省、北陸財務局

（主なヒアリング結果）
➢エアコンは、安価なモデルに加え、省エネ新基準を満たした高単価モデルが売れている。
➢８月30日は多くの来店客が見込まれる日曜日であったものの、大雨の影響により従業員が出勤できずに営業を休止したことから、８月の売上高は前年を下回った。

（3）新車販売

持ち直している。

※前回7月判断を据え置き

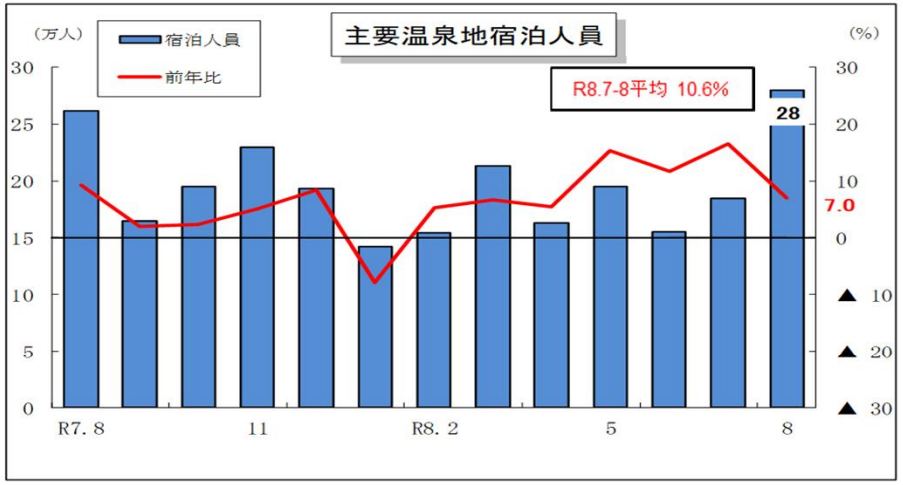


（資料）日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、北陸財務局

（主なヒアリング結果）
➢一部車種の供給状況の改善が進み、受注を再開していることが売上増加の大きな要因となっている。
➢年末から来年にかけて3～4車種の一部改良車が発売される予定であり、新たな需要の喚起を期待している。
➢熊本地震の影響で九州の工場が約1週間稼働停止したため、8月の軽自動車の届出数が落ち込んだ。

（4）温泉・観光

① 主要温泉地の宿泊客数は、前年を上回っている。



（資料）北陸観光協会

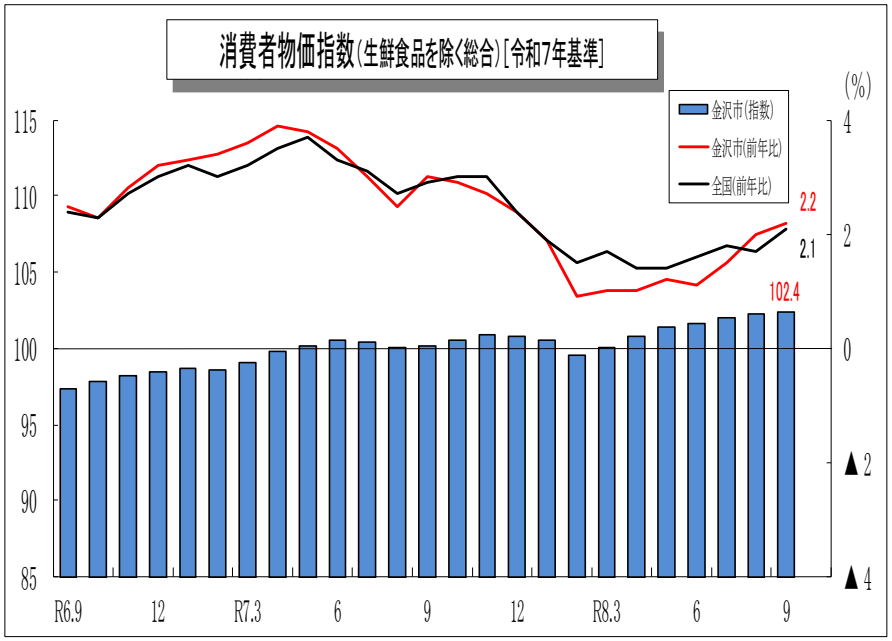
（主なヒアリング結果）
➢【加賀】集客効果の高いイベントが開催されたことや、シルバーウィークの日並びが良かったため、国内客が例年より好調なほか、金沢観光から足を延ばす欧米インバウンドも増加傾向にある。
➢【富山】近隣の有名観光地への交通費が割引になるキャンペーンを例年より長く実施したところ、各地から観光客が増加した。

②主要観光地の入込客数は、前年を上回っている。

（主なヒアリング結果）
➢【金沢】昨年大阪・関西万博に集中した反動で今年は国内客が多くなっているほか、海外のメディアで金沢が訪れるべき場所として相次いで紹介されたことなどから海外からも注目が高まっている。
➢【富山】7月から8月中旬までは天候が安定したうえに、ネットでの事前予約を促進したり、SNSで避暑地をアピールした投稿の反響で来訪者が多くなった。

（ 消費者物価 ）

9月の消費者物価（金沢市、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている。

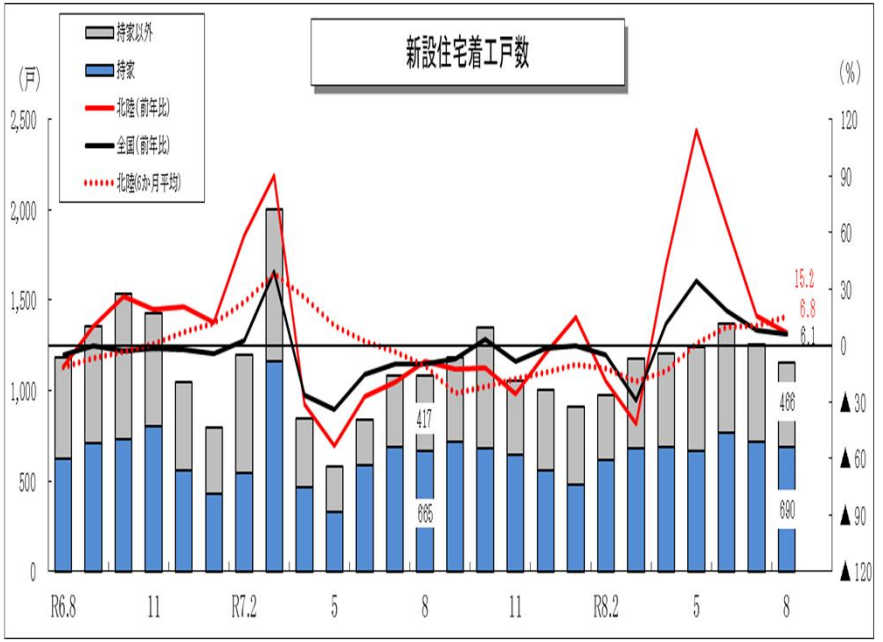


（資料）総務省

2. 住宅建設 ・・・「緩やかに持ち直している」として、

前回7月判断（「横ばいの状況にある」）を上方修正
（令和8年4月以降、3期連続の上方修正）

新設住宅着工戸数でみると、緩やかに持ち直している。

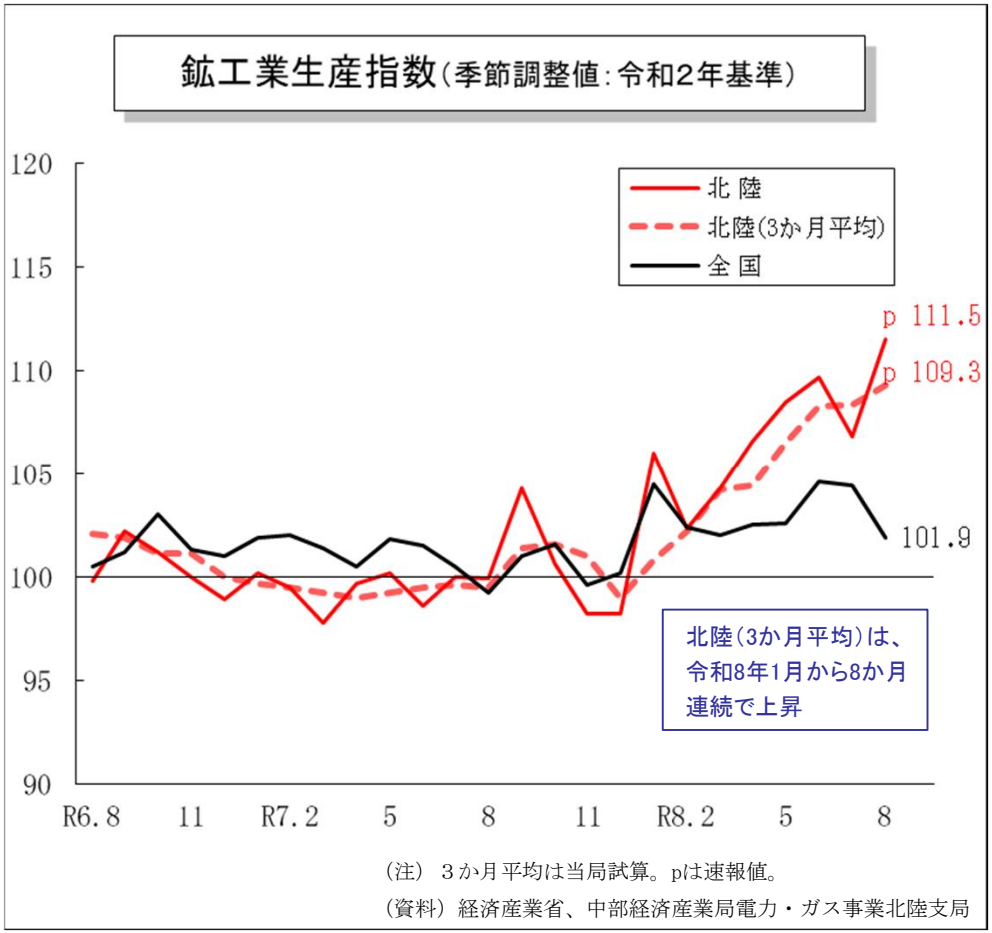


（注）6か月平均は当局試算。

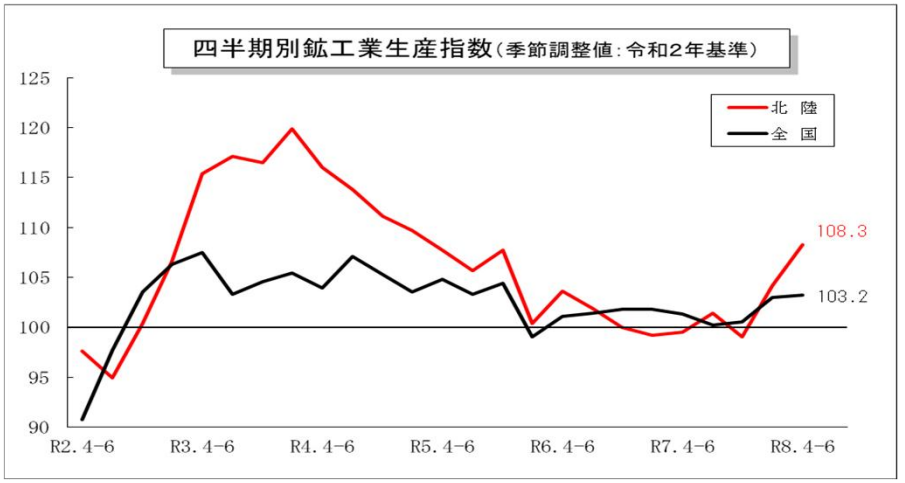
（資料）国土交通省、北陸財務局

（主なヒアリング結果）
➢住宅価格高騰を背景に、注文住宅は減少しているが、分譲住宅、既存住宅の増改築の受注は増加している。
➢能登の復興需要は引き続き見込まれる。

3. 生産活動 ･･･「持ち直している」として、前回7月判断(「持ち直しつつある」)を上方修正
（令和8年7月以降、2期連続の上方修正）



（注） 3か月平均は当局試算。pは速報値。
（資料） 経済産業省、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局



業 種	（ウェイト）総合＝10,000	判 断	前回との比較
化 学	(1540.5)	回復している	→
電子部品・デバイス	(1401.6)	緩やかに持ち直している	↗
生 産 用 機 械	(1233.3)	回復しつつある	↗
金 属 製 品	(905.8)	弱い動きとなっている	→
繊 維	(579.9)	弱含んでいる	→

化学が回復しているほか、電子部品・デバイスが緩やかに持ち直していることや、生産用機械が回復しつつあることなどから、全体では持ち直している。

業種別にみると、

（1）**化学**は、大宗を占める医薬品で、回復している。

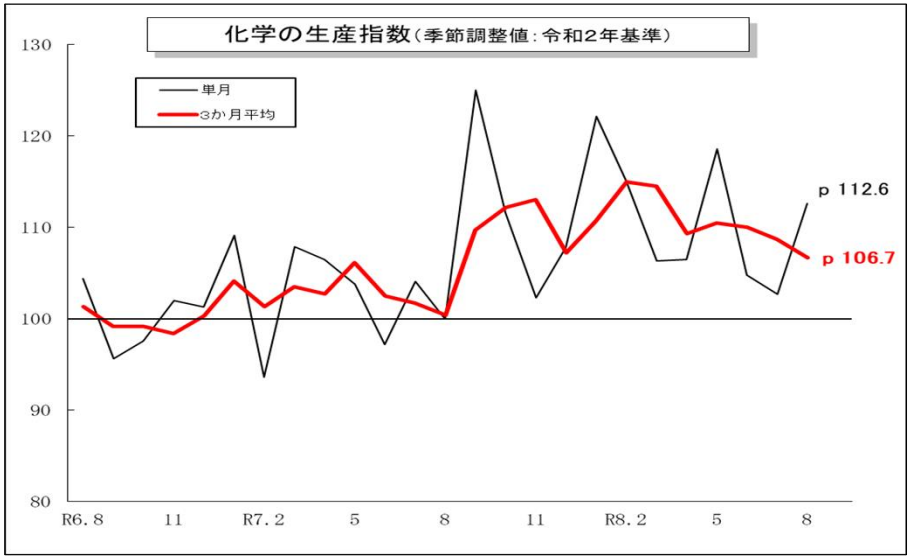
※前回7月判断を据え置き
（令和8年4月以降、3期連続の据え置き）

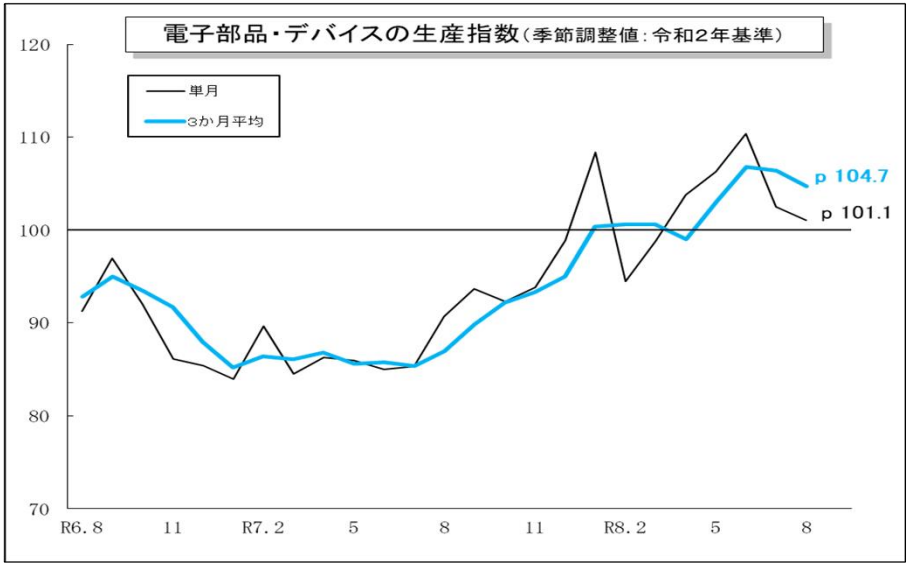
（主なヒアリング結果）
➢医薬品業界で不採算品目からの撤退が進む中、同成分品目の生産を続ける当社への需要は高まっており、既存商品の生産量が増加している。
➢他社との品目統合により、生産体制が効率化されることで、今後は生産量が増加していく見込み。

（2）**電子部品・デバイス**は、スマートフォン向けや自動車向けで持ち直しつつあるほか、AIサーバー向けで増加していることなどから、全体では緩やかに持ち直している。

※前回7月判断（「持ち直しつつある」）を上方修正
（令和8年4月以来、2期ぶりの上方修正）

（主なヒアリング結果）
➢スマートフォン向けは、北米メーカーの新モデル向けが量産体制に入っているほか、旧モデル向けも高い生産水準を維持している。
➢AIサーバー向けは、引き続きデータセンター向けの需要が強く、受注残は積み上がっている。
➢自動車向けは、電子部品の調達難を見据えた在庫確保の動きなどから受注が増加しており、工場は高稼働となっている。





（注） 3か月平均は当局試算。pは速報値。
（資料） 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

(3) **生産用機械**は、半導体製造装置、繊維機械、金属加工機械がいずれも増加していることなどから、全体では回復しつつある。

※前回7月判断(「持ち直しつつある」)を上方修正
(令和8年7月以降、2期連続の上方修正)

(主なヒアリング結果)
➢半導体製造装置は、生成AI需要の高まりを背景にデータセンター向けの引き合いが増加。工場の拡張や工員増強を進め、生産量を拡大させる計画。
➢繊維機械は、AIの急速な普及に伴い、ガラス繊維用織布準備機械の受注が大幅に増加している。(注)ガラス繊維は、AIサーバー向けなどの高性能プリント基板の材料として使用される
➢金属加工機械は、自動車関連企業の設備投資再開の動きから、受注が回復傾向にある。

(4) **金属製品**は、大宗を占めるアルミ建材で、ビル用が下げ止まりつつあるものの、住宅用が減少していることなどから、全体では弱い動きとなっている。

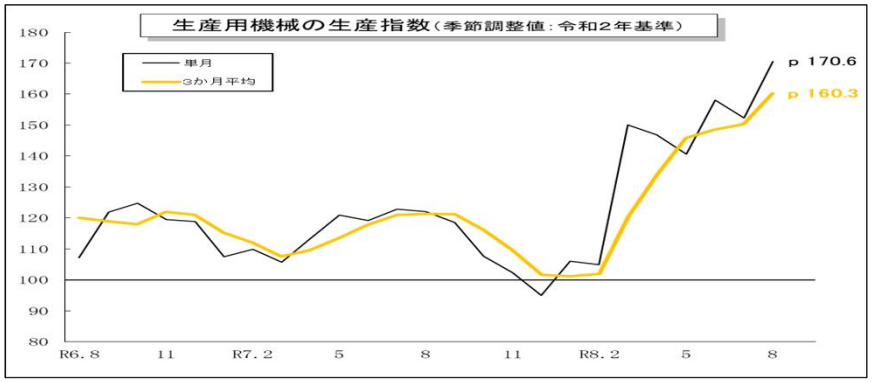
※前回7月判断を据え置き

(主なヒアリング結果)
➢住宅用は、住宅価格の高騰を背景とした住宅の狭小化・平屋化による窓数減少などから、受注量が減少している。ビル用は、都市部を中心に需要が回復基調にある。

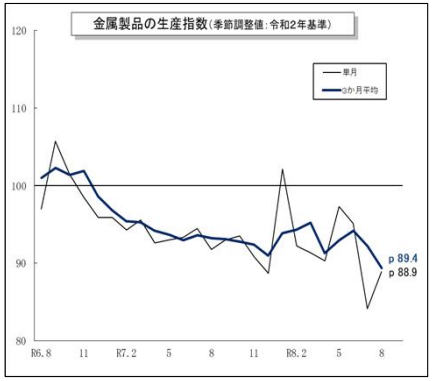
(5) **繊維**は、衣料向けを中心に弱含んでいる。

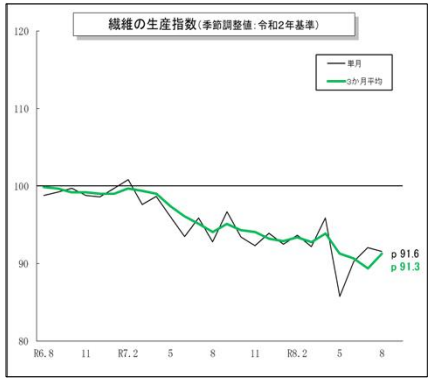
※前回7月判断を据え置き
(令和8年7月以降、2期連続の据え置き)

(主なヒアリング結果)
➢中東情勢の影響による原材料の調達難から生産を抑制して以降、元の生産水準に戻っていない。
➢主力の車両資材は、国内大手自動車メーカーの新車種向けの受注が落ち着いた。
➢当社の衣料向けは海外の有名スポーツブランドからの受注が堅調で工場はフル稼働だが、周りの小規模な事業所では廃業が進んでいる。



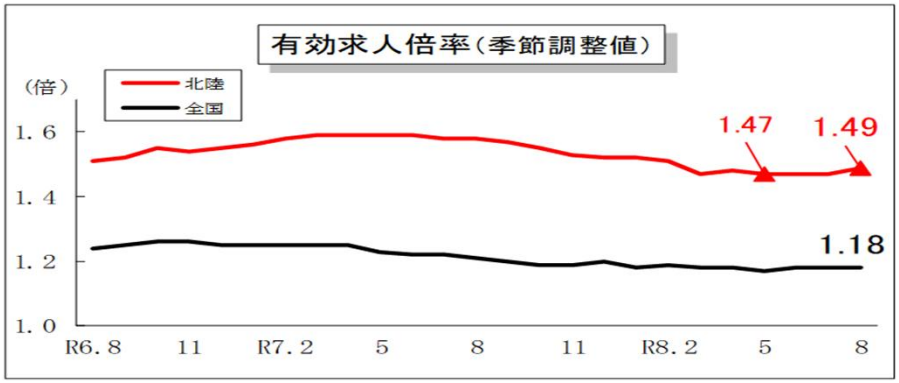




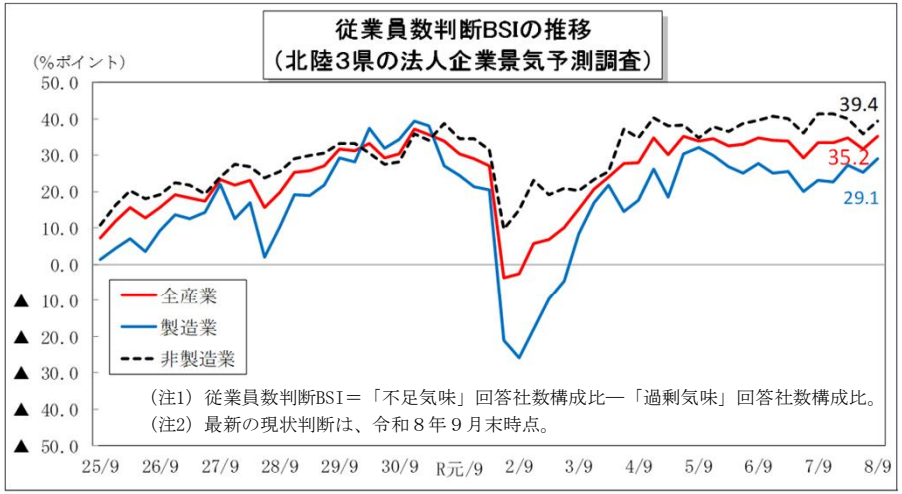


(注) 3か月平均は当局試算。pは速報値。
(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

4. 雇用情勢 ・・・「持ち直しの動きに一服感がみられる」として、前回7月判断を据え置き

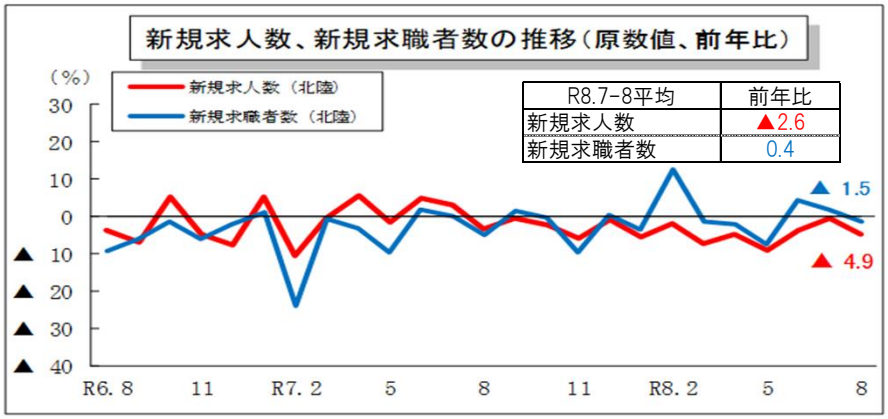


有効求人倍率は引き続き高水準となっており、おおむね横ばいとなっている。



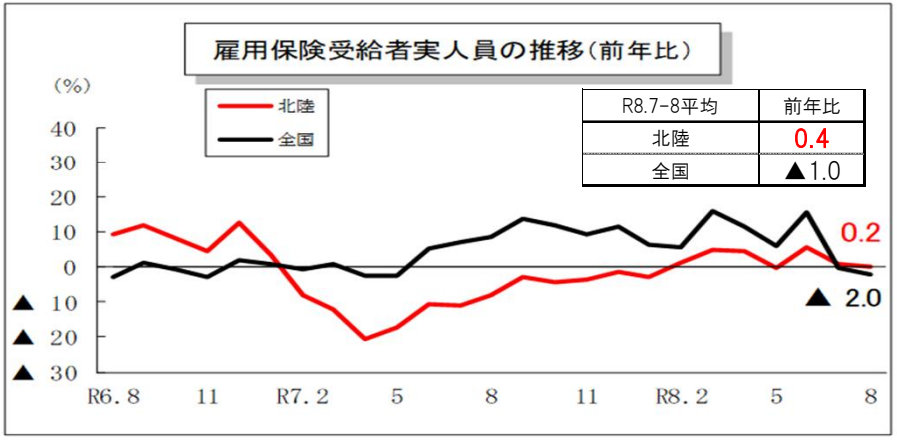
従業員数判断BSIをみると、人手不足感が続いている。

（主なヒアリング結果）
➢ 宿泊の分野では、人手不足・高齢化が深刻で需要の少ない平日は休館日を設けるところが多くなった。



新規求人数は減少傾向、新規求職者数は前年並みとなっている。

（主なヒアリング結果）
➢ 高齢者の求職者が増えている。ただし、体力や通勤・勤務時間などの制約が多く選択肢が限られるため、なかなか就職に結びつかないケースが多い。



雇用保険受給者実人員は、前年並みとなっている。

（資料）厚生労働省、各県労働局、北陸財務局